



一般社団法人 日本小児歯科学会 と 小児歯科専門医

日本小児歯科学会は、小児歯科全般にかかわる診療・教育・研究を統括する大きな学術団体です。

平成18年3月、厚生労働省から専門医資格認定団体として認可され、日本小児歯科学会が認定する小児歯科専門医は、広告の開示が可能となりました。日本小児歯科学会が認めた専門医は、一定の基準以上の高度な専門知識と治療技術をもっている小児歯科医です。全国各地で小児歯科専門医が活躍しています。専門医に関する最新情報は、日本小児歯科学会ホームページに掲載されていますのでご覧ください。

日本小児歯科学会ホームページ
<http://www.jspd.or.jp>

小児歯科専門医が勤務する歯科医院では、小児の成長発達に応じて適切な診療と、その後の口腔管理を、定期的にフォローアップする体制をとっているため、長期間にわたって歯や歯肉の健康や良い歯ならびなど、お口に関する全ての健康管理システムが充実しています。

ですから安心して治療が受けられるのです。



Spec

小児歯科専門医のご案内

ご存知ですか？ 小児歯科の専門医制度を

一般社団法人 日本小児歯科学会
専門医認定委員会 編集

essional



フッ素



むし歯予防にフッ素は欠かせません。歯の質を強くして、むし歯に対する抵抗力をつけます。歯の生え方に合わせて使用すると効果的です。そのため定期的に小児歯科専門医や歯科衛生士の指導を受けましょう。

シーラント



奥歯のくぼみや深い溝は、十分な清掃が難しく、むし歯になりやすい部分です。細菌が住めないように、くぼみや溝をシールして保護する方法をシーラントといい、むし歯予防に効果的です。

ブラッシング



乳歯は生後6か月頃より生え始め、2歳半から3歳までに乳歯の歯ならびができあがります。さらに6歳頃より永久歯が生え、12歳頃までに永久歯の歯ならびができあがります。そこで、この歯の生え方に合わせた歯磨きの習慣が必要になります。通院している間に歯の生え方に合わせた歯磨きの指導をします。

食事と間食



子どもには間食は欠かせない食習慣なので、砂糖の取り過ぎは、むし歯をつくる原因だけでなく、全身の健康管理とも深く関わっています。小児歯科専門医のいる歯科医院のスタッフは、専門的な指導ができるよう教育を受けていますので、何でもご相談ください。

フロッシング



歯と歯の間は歯ブラシではきれいに磨けないので、デンタルフロスを用いることが有効です。小児歯科専門医のいる歯科医院では、使用方法を歯科衛生士が専門的な知識で個人指導をしてくれるので安心です。

歯のケガ、口のケガ



歯や口のケガを予防すること、また歯や口をケガしたときには、できるだけ早く小児歯科専門医を受診することが、正常な口腔の機能を維持する上で極めて重要です。敏速な処置がのちに生じる問題を未然に防ぐこともしばしばあります。すばやい行動によって、完全に脱落した歯であっても救うことができます。

定期健診

routine check up

子どもの頃の生活習慣が、その人の人生の健康を左右します。自分の健康を自分自身で管理できるよう、楽しく身に付けたいものです。乳歯のむし歯だけでなく、歯肉や歯の噛み合わせ、そして何よりもお口全体のバランスなど発育途中の子どもの顔、顎、口について総合的に見守るのが、定期健診の目的です。1年に3～4回の定期的な健診を受けましょう。

乳児期



赤ちゃんの健康を保つためにも、栄養を摂取するお口の動きはとても大切です。哺乳期から離乳期を経て、普通食へと移行する際の、食べる機能の習得は、成長を見守るご家族の一番の心配事です。私たち小児歯科

専門医は、子ども達の食べる機能（摂食機能）の発達を応援しています。そのためこの時期から定期健診を受けられることをお勧めします。

幼児期（乳歯列期）



お口の中にきれいに並んだ小さな乳歯。この歯の動きは永久歯にかわるまでの間、とても重要な役割を果たします。私たち小児歯科専門医は子ども達の大切な乳歯を守り、健全な永久歯までの道案内を引き受

けます。お口についての心配ごとは何でも定期健診でお気軽にご相談ください。

学童期（混合歯列期）



小学校の1年生から6年生までの6年間に、乳歯はほとんど永久歯に生えかわります。健康で美しい永久歯の歯ならびができるように、小児歯科専門医は応援しています。

この時期は口の中がダイナミックに変化する大切な時です。問題が起きる前にぜひ小児歯科専門医に相談してください。

中高生（永久歯列期）

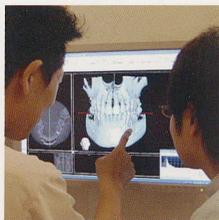


きれいに生えそろった永久歯列。ここまでくれば一安心。しかし、中高生は生活習慣が最も乱れる時期なのです。そのため、むし歯をはじめ歯周病【歯肉や歯槽骨（歯を支えている骨）の病気】や顎の関

節の異常も多くみられます。

大人になるにつれ、身体の変化と生活の変化に対応するため、知っておかなければならないことが沢山あります。きれいな歯ならびをつくり上げ、維持するための生活習慣を身に付けるため、1年に2～3回の定期的な健診を受けましょう。

トータル・ヘルス・ケア



お口の中の健康を守ることは、全身の健康を保つ上で大変重要なことです。小児歯科専門医は子ども達の健康を守り育てるために、小児科医や内科医、他の専門医と連携・協力して最善の医療を提供します。

子ども達の健康を管理する上で、大切なチームの一員として、小児歯科専門医は重要な役割を果たしています。

安心



小児歯科専門医は、子どもの歯と顎の正常な成長と発達を促し、将来予測される歯の問題を未然に防ぎながら、子どもの成長にあわせて最善の治療を行います。また、歯科治療を受ける際に、身体的あるいは精神的に障害を抱えた子ども達に対しても、十分な研鑽を積んでいますので、安心してお任せください。

積んでいますので、安心してお任せください。

コミュニケーション



子どもは歯科治療に対して何らかの不安や恐れを持っています。小児歯科専門医のいる歯科医院では、歯科衛生士、受付などのスタッフは、歯科治療を受ける子ども達の心理的な問題について十分理解しています。

訓練されたスタッフが治療を始める前に、子どもの心配を取り除き、リラックスして治療を受けられるように指導し、生涯を通じて歯科治療に対して悪いイメージが形成されないように注意しています。

むし歯の治療



むし歯は、私たちの口の中に日ごろから存在する細菌と食べ物の中の砂糖が互いに影響することによってできるものです。私たちは高度な技術を使ってむし歯を取り除き、歯と同じ色もしくは金属の材料で歯をな

おします。むし歯が非常に大きい場合には、かぶせてしまうこともあります。

乳歯の重要性



乳歯は栄養摂取のためだけでなく、顎の発育にも関係があります。また、永久歯が生えてくるのを誘導します。もし、乳歯が早く抜けてしまった場合には、永久歯が生えるスペースを確保するために、保隙装置

によって正常な状態を維持します。

歯ならび



歯ならびの悪さは、外見上の問題だけではなくありません。健康を維持するために、よく噛んで食べることが大切なのです。そのためには正しい歯の噛み合わせと、歯ならび、そしてそれを取り巻く筋肉などお口全

体のバランスを考えることが必要です。物を食べることから、しゃべり方まで日常気づかない小さな異常が大きな問題を生じることもあります。気になることは何でもご相談ください。